

FNo.0・4・2（丙）

平成26年5月2日

渋沢丘陵を考える会

代表 日置乃武子様

秦野市長 古谷義幸



秦野市生物多様性地域連携保全活動計画と渋沢霊園造成事業について  
（回答）

平成26年3月19日付けで提出を受けた標記の件について回答いたします。

1 甚大な里山の環境破壊をもたらす墓園開設計画との整合性について

（回答）

神奈川県が実施した地球環境評価によって最高のA1ランクに位置付けられた区域の里山が失われるのは、市としても大変忍びない思いであります。

森林法に基づく林地開発の許可権者は神奈川県ですので、本市としては、自然環境の影響を最小限に抑えるため、最大限の対策を講じるよう意見を付しています。しかし、条件をクリアした開発行為に対し、法律を超えて制限を加えることはできません。

本市としては、今後も植樹活動や荒廃森林の整備をさらに進め、秦野市を全体として捉え、森林の公益的機能の確保や生物多様性の保全再生に、一層努めてまいります。

（事務担当：森林づくり課）

2 環境都市秦野のスタンスについて

（回答）

墓園計画及びその周辺は良好な自然環境を有する渋沢丘陵であることを考慮し、これまでも事業者に対し、環境に十分配慮した計画となるよう指導してきました。

今後も、事業者に対し、秦野市まちづくり条例に基づき、環境への配慮事項について具体的な対応策を事業計画に反映するとともに、県と連携を図りながら、環境への影響を最小限にするよう指導していきます。

(事務担当：環境保全課)

市への要望等についてはくらし安心部広聴相談課です。

電話 0463-82-5128 (直通)